

---

# Behind the Scenes & Bloopers of “A Logical for Predicting Minority Representation”

論文が出来るまでのお話

Yuki Atsusaka (阿津坂祐貴)  
MMRA, 2021年8月6日

---

私について

# 私について

学部: 立命館(国際関係) [ダンス、塾バイト]

修士: 同志社 (アメリカ／ヒップホップ研究)

PhD: ライス (政治学＋統計学 MA)

# 私について

学部: 立命館(国際関係) [ダンス、塾バイト]

修士: 同志社 (アメリカ／ヒップホップ研究)

PhD: ライス (政治学＋統計学 MA)

● 渡米するまで

# 私について

学部: 立命館(国際関係) [ダンス、塾バイト]

修士: 同志社 (アメリカ／ヒップホップ研究)

PhD: ライス (政治学＋統計学 MA)

## ● 渡米するまで

留学経験: なし (NYに旅行程度)

政治学経験: ほぼ皆無

# 私について

学部: 立命館(国際関係) [ダンス、塾バイト]

修士: 同志社 (アメリカ／ヒップホップ研究)

PhD: ライス (政治学＋統計学 MA)

## ● 渡米するまで

留学経験: なし (NYに旅行程度)

政治学経験: ほぼ皆無

統計学経験: なし

英語: 抵抗なし

一人暮らし経験: なし

# 私について

学部: 立命館(国際関係) [ダンス、塾バイト]

修士: 同志社 (アメリカ／ヒップホップ研究)

PhD: ライス (政治学＋統計学 MA)

## ● 渡米するまで

留学経験: なし (NYに旅行程度)

政治学経験: ほぼ皆無

統計学経験: なし

英語: 抵抗なし

一人暮らし経験: なし

助けてくれた人: 飯田健、西澤由隆、峯陽一(先生たち)

# 私について

学部: 立命館(国際関係) [ダンス、塾バイト]

修士: 同志社 (アメリカ／ヒップホップ研究)

PhD: ライス (政治学＋統計学 MA)

## ● 渡米するまで

留学経験: なし (NYに旅行程度)

政治学経験: ほぼ皆無

統計学経験: なし

英語: 抵抗なし

一人暮らし経験: なし

助けてくれた人: 飯田健、西澤由隆、峯陽一(先生たち)

奨学金: フルブライト＝J1ビザ(東島雅昌さんが助けてくれました)



# 私について

学部: 立命館(国際関係) [ダンス、塾バイト]

修士: 同志社 (アメリカ／ヒップホップ研究)

PhD: ライス (政治学＋統計学 MA)

## ● 渡米するまで

留学経験: なし (NYに旅行程度)

政治学経験: ほぼ皆無

統計学経験: なし

英語: 抵抗なし

一人暮らし経験: なし

助けてくれた人: 飯田健、西澤由隆、峯陽一(先生たち)

奨学金: フルブライト＝J1ビザ(東島雅昌さんが助けてくれました)

その他: 留学や政治学の知り合い・先輩などはなし

# 私について

学部: 立命館(国際関係) [ダンス、塾バイト]

修士: 同志社 (アメリカ／ヒップホップ研究)

PhD: ライス (政治学＋統計学 MA)

## ●渡米するまで

留学経験: なし (NYに旅行程度)

政治学経験: ほぼ皆無

統計学経験: なし

英語: 抵抗なし

一人暮らし経験: なし

助けてくれた人: 飯田健、西澤由隆、峯陽一(先生たち)

奨学金: フルブライト＝J1ビザ(東島雅昌さんが助けてくれました)

その他: 留学や政治学の知り合い・先輩などはなし

ライスでの研究環境については、最後に少し述べます

# ロジカルモデル論文

# ロジカルモデル論文

雑誌: *American Political Science Review*

# ロジカルモデル論文

雑誌: *American Political Science Review*

雑誌の種類: General Journal (広く政治学者全員が読者。Subfield Journalもあります)

# ロジカルモデル論文

雑誌: *American Political Science Review*

雑誌の種類: General Journal (広く政治学者全員が読者。Subfield Journalもあります)

論文の種類: Article (Article と Letter の 2種類があります)

# ロジカルモデル論文

雑誌: *American Political Science Review*

雑誌の種類: General Journal (広く政治学者全員が読者。Subfield Journalもあります)

論文の種類: Article (Article と Letter の2種類があります)

選択した分野: Race, Ethnicity, and Politics

# ロジカルモデル論文

雑誌: *American Political Science Review*

雑誌の種類: General Journal (広く政治学者全員が読者。Subfield Journalもあります)

論文の種類: Article (Article と Letter の 2種類があります)

選択した分野: Race, Ethnicity, and Politics

選択したサブ分野: Representation and Electoral Systems



# ロジカルモデル論文

雑誌: *American Political Science Review*

雑誌の種類: General Journal (広く政治学者全員が読者。Subfield Journalもあります)

論文の種類: Article (Article と Letter の2種類があります)

選択した分野: Race, Ethnicity, and Politics

選択したサブ分野: Representation and Electoral Systems

査読者: 3人 (R&Rは一回のみ)

# ロジカルモデル論文

雑誌: *American Political Science Review*

雑誌の種類: General Journal (広く政治学者全員が読者。Subfield Journalもあります)

論文の種類: Article (Article と Letter の 2種類があります)

選択した分野: Race, Ethnicity, and Politics

選択したサブ分野: Representation and Electoral Systems

査読者: 3人 (R&Rは一回のみ)

6/29/2020: *Submitted*

8/18/2020: *Revise and Resubmit* (Major Revision) w/ 6 months

2/10/2021: *Resubmitted*

3/30/2021: *Conditionally accepted*

5/18/2021: 結果が出ていたことを知る

5/25/2021: *Accepted* (Replication Filesの提出の後)

6/25/2021: *Published Online* (校正の後)

# ロジカルモデル論文

雑誌: *American Political Science Review*

雑誌の種類: General Journal (広く政治学者全員が読者。Subfield Journalもあります)

論文の種類: Article (Article と Letter の 2種類があります)

選択した分野: Race, Ethnicity, and Politics

選択したサブ分野: Representation and Electoral Systems

査読者: 3人 (R&Rは一回のみ)

6/29/2020: *Submitted*

8/18/2020: *Revise and Resubmit* (Major Revision) w/ 6 months

2/10/2021: *Resubmitted*

3/30/2021: *Conditionally accepted*

5/18/2021: 結果が出ていたことを知る

5/25/2021: *Accepted* (Replication Filesの提出の後)

6/25/2021: *Published Online* (校正の後)

※査読から学んだ経験やティプスなどは、[“Publishing Political Science Manuscripts”](#)に書いておりますので、ご参照ください。

論文を提出するまで

## 論文を提出するまで

2017年: PhD2年目。元アドバイザーとのRAから生まれた企画。「新しいデータがあるのでそれで何かしら書こう」タイプの論文。テストしたい理論などは無く、とりあえずRegressionなどをしては話合うという状態。共著。

## 論文を提出するまで

2017年: PhD2年目。元アドバイザーとのRAから生まれた企画。「新しいデータがあるのでそれで何かしら書こう」タイプの論文。テストしたい理論などは無く、とりあえずRegressionなどをしては話合うという状態。共著。

2018年: PhD3年目。理論が無くやっていることの意味が分からなくなり、Formal Modelのようなものを考え始める。Racial margin of victory (M) はこの時に思いつく。

## 論文を提出するまで

**2017年:** PhD2年目。元アドバイザーとのRAから生まれた企画。「新しいデータがあるのでそれで何かしら書こう」タイプの論文。テストしたい理論などは無く、とりあえずRegressionなどをしては話合うという状態。共著。

**2018年:** PhD3年目。理論が無くやっていることの意味が分からなくなり、Formal Modelのようなものを考え始める。Racial margin of victory (M) はこの時に思いつく。

**2019年:** PhD3年目終了後。EITMのサマースクールに参加して、Logical Modelsについて初めて知る。ここでFormal Model & Bayesian Logitベースの論文を報告する。元アドバイザーには良く分からないと言われる。

## 論文を提出するまで

**2017年:** PhD2年目。元アドバイザーとのRAから生まれた企画。「新しいデータがあるのでそれで何かしら書こう」タイプの論文。テストしたい理論などは無く、とりあえずRegressionなどをしては話合うという状態。共著。

**2018年:** PhD3年目。理論が無くやっていることの意味が分からなくなり、Formal Modelのようなものを考え始める。Racial margin of victory (M) はこの時に思いつく。

**2019年:** PhD3年目終了後。EITMのサマースクールに参加して、Logical Modelsについて初めて知る。ここでFormal Model & Bayesian Logitベースの論文を報告する。元アドバイザーには良く分からないと言われる。その後、単著で書かせてもらえないかと頼み(修羅場)、許しをもらう。Support Vector Machineのグラフにヒントを得てModelとデータを描いてみる(Figure 3になったもの)。ModelのArithmetic meanをGeometric meanに変えると、データとModelがピッタリ合うことに気付く。Geometric meanがLogical Modelsで重要なコンセプトだと思い出し、論文をLogical Modelを軸に完全に書き直す。



## 論文を提出するまで

**2017年:** PhD2年目。元アドバイザーとのRAから生まれた企画。「新しいデータがあるのでそれで何かしら書こう」タイプの論文。テストしたい理論などは無く、とりあえずRegressionなどをしては話合うという状態。共著。

**2018年:** PhD3年目。理論が無くやっていることの意味が分からなくなり、Formal Modelのようなものを考え始める。Racial margin of victory (M) はこの時に思いつく。

**2019年:** PhD3年目終了後。EITMのサマースクールに参加して、Logical Modelsについて初めて知る。ここでFormal Model & Bayesian Logitベースの論文を報告する。元アドバイザーには良く分からないと言われる。その後、単著で書かせてもらえないかと頼み(修羅場)、許しをもらう。Support Vector Machineのグラフにヒントを得てModelとデータを描いてみる(Figure 3になったもの)。ModelのArithmetic meanをGeometric meanに変えると、データとModelがピッタリ合うことに気付く。Geometric meanがLogical Modelsで重要なコンセプトだと思い出し、論文をLogical Modelを軸に完全に書き直す。

**2020年:** PhD4年目(&博論事前審査)終了後。就活までに出せる論文がこれしか無いと気づき、とりあえず出来るだけ良いものを書いて出そうと覚悟を決める。アドバイスをもらうため、6人くらい話したこともない人にもメールをする(Rein Taageperaが返事をくれました)。

# 論文を提出するまで

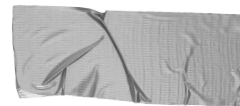
**2017年:** PhD2年目。元アドバイザーとのRAから生まれた企画。「新しいデータがあるのでそれで何かしら書こう」タイプの論文。テストしたい理論などは無く、とりあえずRegressionなどをしては話合うという状態。共著。

**2018年:** PhD3年目。理論が無くやっていることの意味が分からなくなり、Formal Modelのようなものを考え始める。Racial margin of victory (M) はこの時に思いつく。

**2019年:** PhD3年目終了後。EITMのサマースクールに参加して、Logical Modelsについて初めて知る。ここでFormal Model & Bayesian Logitベースの論文を報告する。元アドバイザーには良く分からないと言われる。その後、単著で書かせてもらえないかと頼み(修羅場)、許しをもらう。Support Vector Machineのグラフにヒントを得てModelとデータを描いてみる(Figure 3になったもの)。ModelのArithmetic meanをGeometric meanに変えると、データとModelがピッタリ合うことに気付く。Geometric meanがLogical Modelsで重要なコンセプトだと思い出し、論文をLogical Modelを軸に完全に書き直す。

**2020年:** PhD4年目(&博論事前審査)終了後。就活までに出せる論文がこれしか無いと気づき、とりあえず出来るだけ良いものを書いて出そうと覚悟を決める。アドバイスをもらうため、6人くらい話したこともない人にもメールをする(Rein Taageperaが返事をくれました)。直前までどこに出すか考えて／良くわかっておらず、APSRに出して良いコメントをもらって落ちたらAJPSIに出せばよいと言われ、それに従う。提出直前になってはじめて、字数制限や分野選択などについて知る。Revise and Resubmitなどもよく分からないまま、提出。Grammarly未使用。

Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで



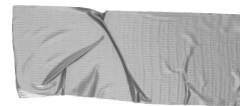
## Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで

### Reviewer 1 (positive)

重要な問い。悪くはないが、書き直しが必要。十数個、問題点がある。



## Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで



### Reviewer 1 (positive)

重要な問い。悪くはないが、書き直しが必要。十数個、問題点がある。

### Reviewer 2 (negative)

重要な問いだが、論文は酷い。読みにくい。南部、人種政治、投票権法の文献を完全に無視していて、論外。ルイジアナのデータを使ってるのに、ルイジアナについての議論は全くない。話にならない。[非常に短い査読]

# Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで



## Reviewer 1 (positive)

重要な問い。悪くはないが、書き直しが必要。十数個、問題点がある。

## Reviewer 2 (negative)

重要な問いだが、論文は酷い。読みにくい。南部、人種政治、投票権法の文献を完全に無視していて、論外。ルイジアナのデータを使ってるのに、ルイジアナについての議論は全くない。話にならない。[非常に短い査読]

## Reviewer 3 (positive)

重要な問い。Logical Modelについての理解と評価。専門性の高い指摘とアドバイス(十数個)。

# Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで



## Reviewer 1 (positive)

重要な問い。悪くはないが、書き直しが必要。十数個、問題点がある。

## Reviewer 2 (negative)

重要な問いだが、論文は酷い。読みにくい。南部、人種政治、投票権法の文献を完全に無視していて、論外。ルイジアナのデータを使ってるのに、ルイジアナについての議論は全くない。話にならない。[非常に短い査読]

## Reviewer 3 (positive)

重要な問い。Logical Modelについての理解と評価。専門性の高い指摘とアドバイス(十数個)。

## Editor

重要な問いだが、問題点多し。Major Revisionをすれば再度査読可能。半年待つ。

# Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで



## Reviewer 1 (positive)

重要な問い。悪くはないが、書き直しが必要。十数個、問題点がある。

## Reviewer 2 (negative)

重要な問いだが、論文は酷い。読みにくい。南部、人種政治、投票権法の文献を完全に無視していて、論外。ルイジアナのデータを使ってるのに、ルイジアナについての議論は全くない。話にならない。[非常に短い査読]

## Reviewer 3 (positive)

重要な問い。Logical Modelについての理解と評価。専門性の高い指摘とアドバイス(十数個)。

## Editor

重要な問いだが、問題点多し。Major Revisionをすれば再度査読可能。半年待つ。

## R&Rのステップ



# Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで



## Reviewer 1 (positive)

重要な問い。悪くはないが、書き直しが必要。十数個、問題点がある。

## Reviewer 2 (negative)

重要な問いだが、論文は酷い。読みにくい。南部、人種政治、投票権法の文献を完全に無視していて、論外。ルイジアナのデータを使ってるのに、ルイジアナについての議論は全くない。話にならない。[非常に短い査読]

## Reviewer 3 (positive)

重要な問い。Logical Modelについての理解と評価。専門性の高い指摘とアドバイス(十数個)。

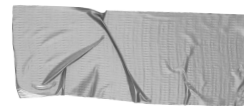
## Editor

重要な問いだが、問題点多し。Major Revisionをすれば再度査読可能。半年待つ。

## R&Rのステップ

1. 全てのコメントをリストアップして、各コメントごとに論文を改善して、その内容を説明する(これがResponse Memoになります)。論文とOnline Appendixを全て書き直す+新しいセクションを追加する。

# Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで



## Reviewer 1 (positive)

重要な問い。悪くはないが、書き直しが必要。十数個、問題点がある。

## Reviewer 2 (negative)

重要な問いだが、論文は酷い。読みにくい。南部、人種政治、投票権法の文献を完全に無視していて、論外。ルイジアナのデータを使ってるのに、ルイジアナについての議論は全くない。話にならない。[非常に短い査読]

## Reviewer 3 (positive)

重要な問い。Logical Modelについての理解と評価。専門性の高い指摘とアドバイス(十数個)。

## Editor

重要な問いだが、問題点多し。Major Revisionをすれば再度査読可能。半年待つ。

## R&Rのステップ

1. 全てのコメントをリストアップして、各コメントごとに論文を改善して、その内容を説明する(これがResponse Memoになります)。論文とOnline Appendixを全て書き直す+新しいセクションを追加する。
2. 関連する論文と本を借りるか購入して、ひたすら読む。論文改善のヒントは全てLiteratureから得ました。出来るだけ多くの先行研究を、最も効果的に引用する。

# Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで



## Reviewer 1 (positive)

重要な問い。悪くはないが、書き直しが必要。十数個、問題点がある。

## Reviewer 2 (negative)

重要な問いだが、論文は酷い。読みにくい。南部、人種政治、投票権法の文献を完全に無視していて、論外。ルイジアナのデータを使ってるのに、ルイジアナについての議論は全くない。話にならない。[非常に短い査読]

## Reviewer 3 (positive)

重要な問い。Logical Modelについての理解と評価。専門性の高い指摘とアドバイス(十数個)。

## Editor

重要な問いだが、問題点多し。Major Revisionをすれば再度査読可能。半年待つ。

## R&Rのステップ

1. 全てのコメントをリストアップして、各コメントごとに論文を改善して、その内容を説明する(これがResponse Memoになります)。論文とOnline Appendixを全て書き直す+新しいセクションを追加する。
2. 関連する論文と本を借りるか購入して、ひたすら読む。論文改善のヒントは全てLiteratureから得ました。出来るだけ多くの先行研究を、最も効果的に引用する。
3. 表とグラフを納得にいくまで磨き上げる。Grammarlyで文法ミス・タイポなどをゼロにする。

# Revise and Resubmit (R&R)から再提出まで



## Reviewer 1 (positive)

重要な問い。悪くはないが、書き直しが必要。十数個、問題点がある。

## Reviewer 2 (negative)

重要な問いだが、論文は酷い。読みにくい。南部、人種政治、投票権法の文献を完全に無視していて、論外。ルイジアナのデータを使ってるのに、ルイジアナについての議論は全くない。話にならない。[非常に短い査読]

## Reviewer 3 (positive)

重要な問い。Logical Modelについての理解と評価。専門性の高い指摘とアドバイス(十数個)。

## Editor

重要な問いだが、問題点多し。Major Revisionをすれば再度査読可能。半年待つ。

## R&Rのステップ

1. 全てのコメントをリストアップして、各コメントごとに論文を改善して、その内容を説明する(これがResponse Memoになります)。論文とOnline Appendixを全て書き直す+新しいセクションを追加する。
2. 関連する論文と本を借りるか購入して、ひたすら読む。論文改善のヒントは全てLiteratureから得ました。出来るだけ多くの先行研究を、最も効果的に引用する。
3. 表とグラフを納得にいくまで磨き上げる。Grammarlyで文法ミス・タイポなどをゼロにする。
4. Response Memo (シングル50頁)と直した論文(11950字) Online Appendix (シングル35頁)を再提出。

R&Rで気を付けたこと

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから毎日同じ論文と向き合う

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える



## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く
- 全てのコメントについて、Go the Extra Mileする（返答だけでなく追加分析, etc）

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く
- 全てのコメントについて、Go the Extra Mileする（返答だけでなく追加分析, etc）
- 引用を増やして、可能な限り「オーディエンス」を拡大する

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く
- 全てのコメントについて、Go the Extra Mileする（返答だけでなく追加分析, etc）
- 引用を増やして、可能な限り「オーディエンス」を拡大する
- 新しいデータを1000個以上集める

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く
- 全てのコメントについて、Go the Extra Mileする（返答だけでなく追加分析, etc）
- 引用を増やして、可能な限り「オーディエンス」を拡大する
- 新しいデータを1000個以上集める
- グラフと表にもものすごい情報量を加える

# R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く
- 全てのコメントについて、Go the Extra Mileする（返答だけでなく追加分析, etc）
- 引用を増やして、可能な限り「オーディエンス」を拡大する
- 新しいデータを1000個以上集める
- グラフと表にもものすごい情報量を加える
- 本当に必要な議論、分析、グラフ、表のみを残す

※絶対必要でないものは、本文からも Online Appendixからも潔く消す

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く
- 全てのコメントについて、Go the Extra Mileする（返答だけでなく追加分析, etc）
- 引用を増やして、可能な限り「オーディエンス」を拡大する
- 新しいデータを1000個以上集める
- グラフと表にもものすごい情報量を加える
- 本当に必要な議論、分析、グラフ、表のみを残す  
※絶対必要でないものは、本文からも Online Appendixからも潔く消す
- Response Memoで改善点を最も効果的にプレゼンする（メモに興味のある方はメールを下さい）

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く
- 全てのコメントについて、Go the Extra Mileする（返答だけでなく追加分析, etc）
- 引用を増やして、可能な限り「オーディエンス」を拡大する
- 新しいデータを1000個以上集める
- グラフと表にもものすごい情報量を加える
- 本当に必要な議論、分析、グラフ、表のみを残す  
※絶対必要でないものは、本文からも Online Appendixからも潔く消す
- Response Memoで改善点を最も効果的にプレゼンする（メモに興味のある方はメールを下さい）

査読者と編集部、「私は皆さんの指摘に本当に感謝していて、それら全てに返答するために最大限努力しました」ということを書き直しの質と量で伝えられることを目標にしました。



## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く
- 全てのコメントについて、Go the Extra Mileする（返答だけでなく追加分析, etc）
- 引用を増やして、可能な限り「オーディエンス」を拡大する
- 新しいデータを1000個以上集める
- グラフと表にもものすごい情報量を加える
- 本当に必要な議論、分析、グラフ、表のみを残す  
※絶対必要でないものは、本文からも Online Appendixからも潔く消す
- Response Memoで改善点を最も効果的にプレゼンする（メモに興味のある方はメールを下さい）

査読者と編集部、「私は皆さんの指摘に本当に感謝していて、それら全てに返答するために最大限努力しました」ということを書き直しの質と量で伝えられることを目標にしました。また、書き直しとResponse Memoを彼らとの**対話**と考えて行いました。

## R&Rで気を付けたこと

- R&Rを最優先事項にする（他の論文や学会などは可能な限り手を付けない）
- 少しでも良いから**毎日**同じ論文と向き合う
- 簡単な指摘から始めて、難しい指摘はじっくり考える
- 全てのコメントを反映して論文を改善し、丁寧に返答を書く
- 全てのコメントについて、Go the Extra Mileする（返答だけでなく追加分析, etc）
- 引用を増やして、可能な限り「オーディエンス」を拡大する
- 新しいデータを1000個以上集める
- グラフと表にもものすごい情報量を加える
- 本当に必要な議論、分析、グラフ、表のみを残す  
※絶対必要でないものは、本文からも Online Appendixからも潔く消す
- Response Memoで改善点を最も効果的にプレゼンする（メモに興味のある方はメールを下さい）

査読者と編集部、「私は皆さんの指摘に本当に感謝していて、それら全てに返答するために最大限努力しました」

ということを書き直しの質と量で伝えられることを目標にしました。

また、書き直しとResponse Memoを彼らとの**対話**と考えて行いました。

そのため、常に「指摘の裏にある意図」を読み取って、それに応えるために

追加の分析や議論（※）を加えました。詳しくは“[Publishing Political Science Manuscripts](#)”を参照して下さい。

# 研究の環境とこれから

# 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

## 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

## 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

## 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

## 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い



## 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

## 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

今の生活: 妻の人と2人暮らし(2年目から)

## 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

今の生活: 妻の人と2人暮らし(2年目から)

研究スタイル: 平日9-17時(自宅)、土日オフ(進級試験後から可能になりました)

## 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

今の生活: 妻の人と2人暮らし(2年目から)

研究スタイル: 平日9-17時(自宅)、土日オフ(進級試験後から可能になりました)

専門: Political methodology & Comparative politics (主地域=North America)(順不同)

# 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

今の生活: 妻の人と2人暮らし(2年目から)

研究スタイル: 平日9-17時(自宅)、土日オフ(進級試験後から可能になりました)

専門: Political methodology & Comparative politics (主地域=North America)(順不同)

- *Electoral Systems and Minority Representation*

# 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

今の生活: 妻の人と2人暮らし(2年目から)

研究スタイル: 平日9-17時(自宅)、土日オフ(進級試験後から可能になりました)

専門: Political methodology & Comparative politics (主地域=North America)(順不同)

- *Electoral Systems and Minority Representation*

- *Rank Data* (e.g., [1,4,2,3] ↔ [茄子, 大根, 白菜, 豆腐])[博士論文]

# 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

今の生活: 妻の人と2人暮らし(2年目から)

研究スタイル: 平日9-17時(自宅)、土日オフ(進級試験後から可能になりました)

専門: Political methodology & Comparative politics (主地域=North America)(順不同)

- *Electoral Systems and Minority Representation*

- *Rank Data* (e.g., [1,4,2,3] ↔ [茄子, 大根, 白菜, 豆腐])[博士論文]

- *Quantitatively Predictive Logical Models*

# 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

今の生活: 妻の人と2人暮らし(2年目から)

研究スタイル: 平日9-17時(自宅)、土日オフ(進級試験後から可能になりました)

専門: Political methodology & Comparative politics (主地域=North America)(順不同)

- *Electoral Systems and Minority Representation*

- *Rank Data* (e.g., [1,4,2,3] ↔ [茄子, 大根, 白菜, 豆腐])[博士論文]

- *Quantitatively Predictive Logical Models*

最後に: 乏しい経験ではありますが、論文の出版は、ノウリョクよりもノウハウ(情報)なのではないかと感じました。



# 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

今の生活: 妻の人と2人暮らし(2年目から)

研究スタイル: 平日9-17時(自宅)、土日オフ(進級試験後から可能になりました)

専門: Political methodology & Comparative politics (主地域=North America)(順不同)

- *Electoral Systems and Minority Representation*

- *Rank Data* (e.g., [1,4,2,3] ↔ [茄子, 大根, 白菜, 豆腐])[博士論文]

- *Quantitatively Predictive Logical Models*

最後に: 乏しい経験ではありますが、論文の出版は、ノウリョクよりもノウハウ(情報)なのではないかと感じました。こうしたノウハウは年々変化するのかもしれませんが、今後、皆さまと情報交換できますと幸いです。

# 研究の環境とこれから

ライス大学: ヒューストンにある私立大学(中くらいのサイズ)

PhD: 各学年平均5-6人、AP, CP, IRのみ、米国で40位くらい(政治学)

生活費: 毎学期のTA/RAが条件で全員に支払い

授業: 3年間。3年目末に進級試験。

良かったこと: 教員 / 学生比が高い

苦労したこと: 過去10年で米国の研究大学に就職した先輩がいない

今の生活: 妻の人と2人暮らし(2年目から)

研究スタイル: 平日9-17時(自宅)、土日オフ(進級試験後から可能になりました)

専門: Political methodology & Comparative politics (主地域=North America)(順不同)

- *Electoral Systems and Minority Representation*

- *Rank Data* (e.g., [1,4,2,3] ↔ [茄子, 大根, 白菜, 豆腐])[博士論文]

- *Quantitatively Predictive Logical Models*

最後に: 乏しい経験ではありますが、論文の出版は、ノウリョクよりもノウハウ(情報)なのではないかと感じました。こうしたノウハウは年々変化するのかもしれませんが、今後、皆さまと情報交換できますと幸いです。これからどうぞよろしくお願いたします。

# Thank you!

Yuki Atsusaka

PhD (political science) & MA (statistics) candidate

Rice University, Houston, TX

**Email:** [atsusaka@rice.edu](mailto:atsusaka@rice.edu)

**Website:** <https://atsusaka.org/>

**Twitter:** [@Yuki\\_Atsusaka](https://twitter.com/Yuki_Atsusaka)